

# ココロに ウツクシク

## 読みたい聴きたい

福岡市の書店「ブックスキューブリック」オーナーの大井さんに、テーマに沿った本や音楽、ときどき映画をセレクトしていただきます。ジャンルを超えて楽しめるいろいろな作品にぜひ、触れてみてください。  
撮影/スタジオパッション

## (訪れる春を感じさせるもの)

「ゆるやか」、「おだやか」、「リラックス」など、春の気分をイメージしたアイテムをどうぞ。

今回ご紹介するのは、『ルピナス』という春の花がモチーフとなった『ルピナスさん』という絵本です。この本の魅力はまず、柔らかな色合いが特徴の絵にあります。素朴で可愛いだけでなく、まるで完成された一枚の絵画作品のような深みがあり、たとえて言うなら、現実をファンタジーへと導いて不思議な世界をつくりだす、アンリ・ルソーの絵のよう。中でも私が素晴らしいと感じるのは、絵の中にやさしい風が表現されているところでしょうか。ふわりとしたカーテンの揺れ

や、草木がそよそよとそよそよしているような心地良さがさりげなく描かれていて、そんな絵を眺めながらページをめくるだけでも、絵本のなかにぐいぐい引き込まれていきそうです。

物語は、アリスという女性の一生を描いたもの。「世の中を、もっと美しくするために、なにかをしてほしいのだよ」という、彼女が幼少時代におじいさんから言われた言葉がストーリーの鍵となります。年を重ねたアリスは、自分の大好きなルピナスの花を村いっばいに咲かせることでおじい

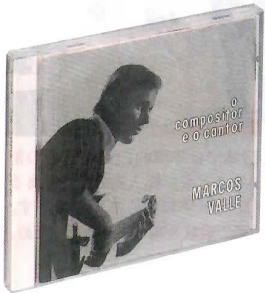
さんとの約束を果たすのですが、その後、彼女は自分の身内であるひとりの女の子とも、昔、彼女がおじいさんとしたように、世の中を美しくする、という約束を交わします。

シンプルなストーリーのなかに素敵な物語がはじまりそうなラストシーンが描かれていたり、大人になつたら何か社会のためにできることを考えてほしいというメッセージが受け継がれていたり、『ルピナスさん』は、大人が読んでも十分に楽しめる、とても完成度が高い絵本だと思います。

音楽は、ほのぼのとした春を表現したようなボサノバの名盤。巨匠、アントニオ・カルロス・ジョビンと並び称されるメロディメーカー、マルコス・ヴァーリのアルバムです。彼の旋律は、気が付くと体を揺らしてしまいうぐらい自然なおだやか。「サマー・サンバ」という名曲をはじめ、5歳になるうちの子でも口ずさめるぐらいキャッチーなメロディーが印象的な「ジェンチ」など、どの曲も気持ちの良い傑作ばかり。ブラジル音楽入門にも最適な一枚です。



「ルピナスさん」  
バーバラ・クニー  
ほるぷ出版  
1,365円(税込)



「シンガー・ソングライター」  
マルコス・ヴァーリ  
EMIミュージック・ジャパン  
1,500円(税込)

●お詫びと訂正  
2月号で紹介した「向田邦子の恋文」の価格に誤りがありました。  
① 362円(税込)  
② 380円(税込)  
お詫びして訂正いたします。

●ブックス・キューブリック  
「品揃えはお客様へのプレゼンテーション」をモットーに、オーナーの大井さんが選んだ本のみを販売。話題の一作はもちろん、時代を超えて愛されるような、普遍的な作品を中心に揃えるその姿勢が、本好きからも一目置かれているショップです。  
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階  
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>

